

# 宮崎県埋蔵文化財センター一年報

第 1 7 号

平成 2 5

( 2 0 1 3 )

年 度

2 0 1 3

## 序

本書は、宮崎県埋蔵文化財センターの概要と平成24年度に実施した諸事業についてまとめたものです。

当センターでは、国・県・西日本高速道路株式会社等の実施する各種開発事業に伴う発掘調査を行うとともに、出土文化財の整理、収蔵、公開を行いました。また、明らかになった郷土の歴史に関することがらを報告会等によって県民の皆様の郷土への理解に役立てるなど、埋蔵文化財の保護と活用に積極的に取り組んでいるところです。

発掘調査では、東九州自動車道建設に伴い、日向～都農間6遺跡を実施し、また、国関連事業に伴う1遺跡、さらに県の事業に伴う2遺跡を実施いたしました。

主な発掘調査については、随時発掘体験会や調査報告会を開催して発掘の成果を一般に公開していますが、今後とも県民の皆様に郷土の歴史にじかに触れていただく機会をできるだけ多く持ちたいと考えております。

埋蔵文化財保護行政の十分な成果が得られるよう今後ともより一層の努力をしてまいりますと存じます。

関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

平成25年5月

宮崎県埋蔵文化財センター

所長 向井大蔵

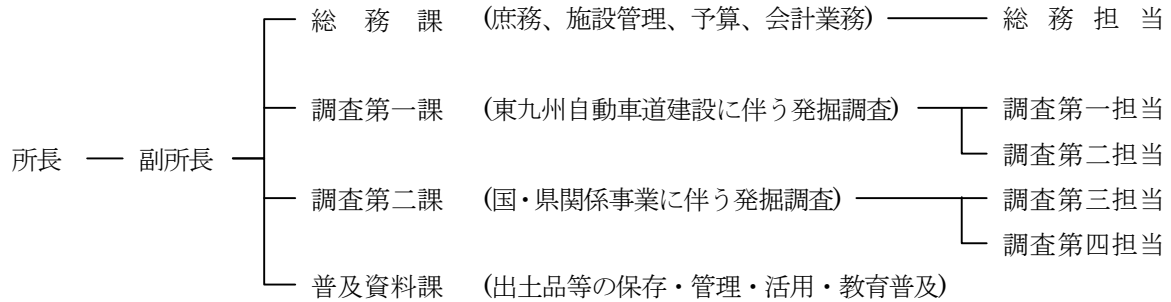
# 目 次

I	組織・施設	1
II	埋蔵文化財センターの沿革	3
III	平成24年度の活動状況	4
1	埋蔵文化財緊急調査	4
(1)	発掘調査	4
(2)	発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査	6
(3)	出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行	6
(4)	保存修復	7
(5)	収蔵整理	8
2	教育普及活動	8
(1)	ここまでわかったひむかの歴史～講演会と遺物公開～	8
(2)	テーマ講座・展示	9
(3)	発掘調査最前線2012～遺跡発掘速報会～	9
(4)	埋文センター施設公開	10
(5)	出前講座	10
(6)	出前展示	11
(7)	発掘体験	11
(8)	現地説明会及び発掘調査成果報告会	12
(9)	見学・研修等で訪れた団体および職場体験の受け入れ	12
(10)	資料等の提供	14
(11)	職員派遣	17
(12)	埋蔵文化財担当専門職員研修会	17
(13)	広報出版物	17
(14)	ホームページ	17
3	会議・職員研修	17
(1)	各種会議等への参加	17
(2)	共同研究への参加	18
(3)	労働安全衛生関係の講習会等への参加	18
IV	宮崎県埋蔵文化財センター管理規則	19

# I 組織・施設

組織

(平成 25 年 4 月 1 日現在)



所長	向井 大蔵	調査第二課	
		課長	菅付 和樹
副所長	長津 宗重		
		調査第三担当	
総務課		副主幹	吉本 正典
課長	坂上 恒俊	主査	山田洋一郎
			(宮城県派遣)
総務担当		主査	和田 理啓
副主幹	高園 寿恵	主査	永野 一美
主査	甲斐 郁土	主査	竹下 昭彦
主査	河野 恭子	主査	松本 茂
		主事	加藤 徹
調査第一課		調査第四担当	
(兼)課長	長津 宗重	副主幹	松林 豊樹
調査第一担当		主査	津曲 健
主幹	飯田 博之	主査	吉永登志孝
	(高速道対策局・併)	主査	日高 広人
主査	橋本 英俊	主査	野崎 一人
( " )		主査	木場 正浩
主査	新谷 清		
( " )		普及資料課	
主査	松浦 朋彦	課長	近藤 協
( " )			
主任主事	二方 和也	普及資料担当	
		主査	松田 清孝
調査第二担当		主査	柳田 晴子
副主幹	福田 泰典		(非常勤職員)
	(高速道対策局・併)	専門員	津隈久美子
主査	山元 清春		
( " )			
主事	沖野 誠		

## 施設

(本館) 宮崎市佐土原町下那珂4019

① 本館 (鉄筋コンクリート造一部木造平屋建)	2,958.07 m <sup>2</sup>
事務室	57.76 m <sup>2</sup>
所長室	19.86 m <sup>2</sup>
情報処理室	33.17 m <sup>2</sup>
会議室	78.52 m <sup>2</sup>
休憩室	78.52 m <sup>2</sup>
調査研究室 (調査第二課)	248.55 m <sup>2</sup>
復元整理室	293.44 m <sup>2</sup>
一次処理室	96.81 m <sup>2</sup>
図面整理室	61.62 m <sup>2</sup>
写場	64.20 m <sup>2</sup>
暗室	12.65 m <sup>2</sup>
一次保管室 (2層)	188.00 m <sup>2</sup>
図書室 (2層)	193.88 m <sup>2</sup>
荷捌室	43.01 m <sup>2</sup>
その他	276.00 m <sup>2</sup>
小計	1,745.99 m <sup>2</sup>
② 附属建物 (鉄骨造)	
調査研究室 (調査第一課)	301.57 m <sup>2</sup>
③ 附属建物 (鉄骨造)	
整理作業棟	216.76 m <sup>2</sup>
④ 附属建物 (鉄骨造)	
収蔵庫棟	693.75 m <sup>2</sup>

(分館) 宮崎市神宮2丁目4-4

分館 (鉄筋コンクリート造2階建)	1,652.38 m <sup>2</sup>		
1階	877.58 m <sup>2</sup>	2階	774.80 m <sup>2</sup>
一次処理室	121.20 m <sup>2</sup>	写場・暗室	49.30 m <sup>2</sup>
復元整理室	148.30 m <sup>2</sup>	写真保管室	35.10 m <sup>2</sup>
保存処理室	49.30 m <sup>2</sup>	図面保管室	53.10 m <sup>2</sup>
(鉄器)	22.70 m <sup>2</sup>	収蔵整理室	19.30 m <sup>2</sup>
(木器)	26.60 m <sup>2</sup>	収蔵室	564.00 m <sup>2</sup>
研修室	143.20 m <sup>2</sup>	特別収蔵室	54.00 m <sup>2</sup>
事務室	41.80 m <sup>2</sup>		
展示室	150.00 m <sup>2</sup>		
器材庫	11.00 m <sup>2</sup>		
エントランスホール他	212.78 m <sup>2</sup>		

## Ⅱ 埋蔵文化財センターの沿革

西暦	年月日	事項
1980 1981 1982	昭55 56 57. 1. 9 7. 29 10. 2	「埋蔵文化財調査センター建設計画」立案 基本設計を実施 起工式 竣工 宮崎県総合博物館埋蔵文化財センターとして宮崎市神宮2丁目4-4に設置。 センター長吉田敏明（兼博物館副館長）以下本務職員2名（岩永哲夫、谷口武範）、兼務職員8名、嘱託2名 発令。出土品の整理保管と教育普及活動を行う。 開館記念講演「日本文化のふるさとをたずねて、東南アジアの旅から」 （講師：国立民族学博物館教授 佐々木高明）
1983	58. 4. 1	センター長細川達雄発令。本務職員を3名（茂山護、岩永哲夫、谷口武範）に増員する。
1984	59. 4. 1	（茂山護転出、菅付和樹転入）
1985	60. 11. 2	文化財保護強調週間の行事として施設公開を初めて行う。
1986	61. 4. 1 61. 7	センター長久徳菊雄発令。兼務職員7名になる。 毎月第4土曜日の映写会「遺跡をたずねて」を始める。
1987	62. 3 62. 4	埋蔵文化財調査研究報告第1集「陣内第2遺跡、蓮ヶ池横穴墓群一遺物編」刊行。 埋蔵文化財講座を始める。
1988	63. 3 63. 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第2集「下那珂貝塚」刊行 センター長長友友蔵発令。本務職員1名（菅付和樹）、兼務職員9名となる。
1989	平1. 4. 1	センター長石井祥博発令。本務職員1名（永友良典）、兼務職員11名となる。
1990	2. 3 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第3集「下北方古墳一遺物編」刊行。 兼務職員13名となる。
1991	3. 3 4. 1	埋蔵文化財調査研究報告第4集「下弓田遺跡一資料編1」刊行。 センター長木幡丈夫発令。 設備充実の一環として、軟X線撮影装置等を導入する。
1992	4. 4. 1	センター長藤崎景二発令。 埋蔵文化財センター開設10周年記念企画展「宮崎の埋文情報展'82～'91」を開催する。 脱塩装置、赤外線TVカメラシステム等を導入する。
1993	5. 4. 1 9. 15	センター長後藤健志発令。本務職員1名（長津宗重）、兼務職員15名となる。 空調設備増設
1994	6. 3. 8	特別収蔵庫増設
1995	7. 1. 29 2. 16 4. 1	一般収蔵庫増設工事完成 屋根防水工事完了 センター長関屋清志発令。本務職員1名（長津宗重）、兼務職員24名となる。 県文化課埋蔵文化財第二係（調査部門）を埋蔵文化財センターに置く。
1996	8. 4. 1	宮崎県埋蔵文化財センターとして総合博物館から分離独立し、庶務係、調査第一係、第二係、教育普及係（第二係兼務）を置く。 所長藤本健一以下職員37名、嘱託1名発令。 鶴島分室（旧婦人相談所：宮崎市鶴島2丁目11-25）を設置し、調査第一係（東九州自動車道担当）を置く。
1997	9. 3. 17 4. 1	分室を国富（旧国富農業改良普及センター：国富町大字本庄4777-2）に移転する。 職員37名、嘱託7名となる。
1998	10. 4. 1	所長田中守発令。職員39名、嘱託8名となる。
1999	11. 4. 1	職員42名、嘱託8名となる。
2000	12. 1. 20 4. 1	佐土原町に新館が完成し、国富分室を統合廃止する。神宮の日本館を分館とする。 所長矢野剛発令。課制となり、総務課、調査第一課、調査第二課、普及資料課を置く。 職員52名、非常勤職員12名となる。分館（研修室、事務室、図面保管室、写真保管室）改築工事完成
2001	13. 4. 1 7. 1	職員59名、非常勤16名となる。 調査第一課調査研究室設置
2002	14. 4. 1	所長米良弘康発令。職員63名、非常勤職員17名となる。
2003	15. 4. 1	職員64名、非常勤15名となる。
2004	16. 4. 1	所長宮園淳一発令。職員62名（うち任期付き職員13名）、非常勤職員12名となる。 収蔵庫用に旧鹵検定工場を農政企画課から所管換え。
2005	17. 3. 8 4. 1 8. 18 11. 16	収蔵第一期工事完成 職員61名（うち任期付き職員19名）、非常勤職員9名となる。 収蔵第二期工事完成 調査一課整理棟の設置。（東畦原整理作業棟撤去に伴い貸借開始）
2006	18. 4. 1	所長清野勉発令。職員64名（うち任期付き職員18名）、非常勤職員8名となる。
2007	19. 6. 1	職員64名（うち任期付き職員19名）、非常勤職員3名となる。
2008	20. 4. 1	所長福永展幸発令。職員61名（うち任期付き職員16名）、非常勤職員2名となる。調査第一課整理棟撤去。
2009	21. 4. 1	職員59名（うち任期付き職員18名）、非常勤職員1名となる。
2010	22. 4. 1	所長森隆茂発令。職員62名（うち任期付き職員18名）、非常勤職員1名となる。
2011	23. 4. 1	職員53名（うち任期付き職員15名）、非常勤職員1名となる。
2012	24. 4. 1	所長北郷泰道発令。職員42名（うち任期付き職員7名）、非常勤職員1名となる。
2013	25. 4. 1	所長向井大蔵発令。職員31名、非常勤職員1名となる。

### Ⅲ 平成24年度の活動状況

埋蔵文化財センターは次に掲げる業務を行っている。

- 1 埋蔵文化財の調査研究
- 2 出土品その他の資料の保存及び活用
- 3 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備
- 4 埋蔵文化財関係者の専門的・技術的な研修及び指導
- 5 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発

平成24年度は以下に記述する事業を実施した。

#### 1 埋蔵文化財緊急調査

##### (1) 発掘調査

東九州自動車道や国道をはじめ、国、県施設の建設に伴う試掘・確認調査や発掘調査を実施している。本年度は駄小屋遺跡（延岡市北方町）、岡遺跡（日向市）、向原中尾第5遺跡（日向市東郷町）、大年遺跡（都城市）などの本調査と東九州自動車道関連の確認調査を実施した。

##### 発掘調査一覧

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
1	馬込遺跡 第1地点 (4次)	日向市 大字平岩	—	なし	なし	H24. 11. 12 } H24. 11. 13 (実調査日数 2日)	30㎡	新谷 清 竹下昭彦	東九州自動車道(日向～都農間)建設
2	馬込遺跡 第2地点 (1次)	日向市 大字平岩	縄文早期  弥生	集石遺構 炉穴2基  —	剥片、石鏃 押型文土器 無文土器 土器(遺物)	H24. 11. 12 } H24. 11. 21 (実調査日数 8日)	200㎡	日高広人 松浦朋彦	東九州自動車道(日向～都農間)建設
3	馬込遺跡 第2地点 (2次)	日向市 大字平岩	縄文早期  弥生 古代	集石遺構 56基 炉穴1基 土坑1基  — 溝状遺構	押型文土器 無文土器 石鏃、磨石、敲石、台石、石斧等 土器 土器(遺物8箱)	H24. 12. 17 } H24. 3. 29 (実調査日数 62日)	1,600㎡	新谷 清 大嶋昭海 竹下昭彦	東九州自動車道(日向～都農間)建設
4	岡遺跡 (16次)	日向市 大字平岩	旧石器  縄文早期  近世	礫群4基  集石遺構3基 炉穴9基 土坑5基  —	ナイフ形石器 剥片、石核等 無文、貝殻条痕土器、石鏃、剥片、石核、石斧、磨石、石錘等 陶磁器 (遺物3箱)	H24. 4. 9 } H24. 8. 10 (実調査日数 72日)	1,000㎡	二方和也 大嶋昭海 日高広人	東九州自動車道(日向～都農間)建設

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
5	岡遺跡 (17次)	日向市 大字平岩	—	—		H23. 5. 8 (実調査日数 1日)	120 m <sup>2</sup>	新谷 清 中川みな子	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
6	向原中尾 第2遺跡 (3次)	日向市 東郷町山陰 字山ノ口甲	旧石器  縄文早期  弥生 終末期	なし  集石遺構1基  竪穴建物跡 1軒	石核、使用痕剥 片、削器、石刃、 敲石  押型文土器、使 用痕剥片  土器片、磨石、 台石  (遺物3箱)	H24. 6. 11  ) H24. 9. 11  (実調査日数 48日)	500 m <sup>2</sup>	沖野 誠 山本光俊	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
7	向原中尾 第5遺跡	日向市 東郷町山陰 字向ヲ原甲	旧石器  縄文早期  弥生～ 古墳  不明	集石遺構1 基  集石遺構12 基、炉穴33 基  竪穴建物跡 1軒  焼土土坑1 基、竪穴状 遺構1基	剥片尖頭器、角 錐状石器、石核、 剥片、碎片  無文土器、押型 文土器、条痕文 土器、知覧式土 器、石鏃、打製 石斧、磨石、敲 石、台石、スク レイパー等  弥生土器～土師 器、石庖丁  (遺物7箱)	H24. 6. 27  ) H24. 10. 5  (実調査日数 64日)	430 m <sup>2</sup>	橋本英俊 谷口めぐみ 松本 茂	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
8	向原中尾 第6遺跡	日向市 東郷町山陰 字向ヲ原甲	旧石器	礫群2基	剥片、スクレ イパー  (遺物7点)	H24. 6. 11  ) H24. 9. 10  (実調査日数 30日)	200 m <sup>2</sup>	谷口めぐみ 松本 茂	東九州 自動車道 (日向～ 都農間) 建設
9	大年遺跡 (1次)	都城市 梅北町	旧石器 ～中世	竪穴建物跡 (竪穴状遺構 含む)13基、 掘立柱建物 1棟、畝状 遺構、土坑	縄文土器、弥 生土器、土師 器、石器、陶 磁器  (遺物81箱)	H24. 9. 12  ) H25. 3. 22  (実調査日数 118日)	3,000 m <sup>2</sup>	加藤 徹 宗廣睦子	県道飯野 松山都城 線(都城 志布志道 路)梅北 工区建設
10	上三輪 小切畑第1 遺跡	延岡市 上三輪町	縄文～ 弥生時代	集石遺構7 基、土坑3 基	縄文土器、弥 生土器、石器  (遺物6箱)	H24. 12. 3  ) H25. 3. 7  (実調査日数 53日)	385 m <sup>2</sup>	木場正浩 沖野 誠	県道北方 土々呂線 (小切畑 工区)建 設



	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
11	駄小屋遺跡	延岡市 北方町	縄文早期	竪穴建物跡 2軒、平地 式建物跡1 軒、集石遺 構97基、炉 穴12基、土 坑38基	縄文土器、石 器 (遺物62箱)	H24. 5. 10 ) H24. 12. 19 (実調査日数 135日)	4,500 m <sup>2</sup>	野崎一人 二宮満夫 木場正浩	一般国道 218号 北方延岡 道路建設 事業

### (2) 発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査

慎重な調査を要する遺跡の調査にあたって、調査方法等の指導を受けるため各分野の専門の研究者を招聘した。また、位置づけの明確でない遺物について職員を派遣し指導を受けた。

#### 調査指導

所属・氏名	指導内容	場所	日程
熊本大学文学部 教授 小畑弘己	西諸県地区総合制専門高校設置事業に伴う広原第1遺跡の報告書作成指導	埋蔵文化財センター本館	H24. 10. 25～26

#### 資料調査

目的	出張先	日程	出張者
保存処理施設調査及び報告書作成に係る資料調査	鹿児島県立埋蔵文化財センター	H24. 6. 5～6	柳田晴子 宗廣睦子
広原第1遺跡検出の貯蔵穴及び植物遺存体に関する資料調査・関連資料実見	熊本大学文学部	H24. 12. 4	吉本正典
鉄器保存処理に関する調査	別府大学文学部	H24. 12. 13～14	柳田晴子
木製品処理に係る資料調査	公益財団法人大阪市博物館協会大阪文化財研究所保存科学室	H25. 1. 15～16	柳田晴子

### (3) 出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行

埋蔵文化財センターでは、発掘調査で出土した遺物等の水洗、注記から実測、製図までの整理を行い、発掘調査報告書を作成している。本年度に整理を実施した遺跡は21遺跡で、内訳は東九州自動車道が西日本高速道路株式会社事業12遺跡、高規格道路が国土交通省事業3遺跡、県土木事務所事業4遺跡、県教育委員会関連事業1遺跡である。

また、整理作業の終了した18遺跡については発掘調査報告書を刊行した。

### 出土遺物等整理対象遺跡一覧

遺跡名	事業名	事業者
岡遺跡	東九州自動車道（日向～都農間）建設	西日本高速道路株式会社九州支社 延岡高速道路事務所
向原中尾第2遺跡		
向原中尾第5遺跡		
長野遺跡		
舟川第2遺跡		
山崎上ノ原第1遺跡	主要地方道宮崎島之内線（産母工区）整備事業	県土整備部宮崎土木事務所
宮ヶ迫遺跡	主要地方道宮崎高鍋線（那珂工区）道路改良事業	県土整備部宮崎土木事務所
陣ノ口遺跡	県道高城山田線（志和池工区）道路改良工事	県土整備部都城土木事務所
広原第1遺跡	西諸県地区総合制専門高校設置事業	県教育庁学校政策課
中畑遺跡	一般国道218号北方延岡道路建設	国土交通省九州地方整備局 延岡河川国道事務所
坂ノ下遺跡		
駄小屋遺跡		

### 発掘調査報告書刊行一覧

	集	報告書名	副書名	執筆・編集者
1	222	陣ノ口遺跡	県道高城山田線（志和池工区）道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	宗廣睦子
2	223	岡遺跡 （第9・13・15次調査）	東九州自動車道（日向～都農間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書9	久保田陽香/竹下昭彦/松浦朋彦
3	224	山崎上ノ原第1遺跡	主要地方道宮崎島之内線（産母工区）整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	和田理啓
4	225	坂ノ下遺跡・中畑遺跡	一般国道218号北方延岡道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(9)	津曲 健/吉永登志孝
5	226	長野遺跡・舟川第2遺跡 （第3次調査）	東九州自動車道（日向～都農間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書10	明石宏一/川俣唱子
6	227	広原第1遺跡	西諸県地区総合制専門高校設置事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	泊俊一郎
7	228	宮ヶ迫遺跡	主要地方道宮崎高鍋線（那珂工区）道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	山田洋一郎/吉本正典

#### (4) 保存修復

保存処理室では、出土の金属製品や木製品について保存修復を行っている。本年度は、19遺跡の資料について保存修復の工程を行った。

#### 鉄器及び木器保存修復実施の遺跡

遺跡名	主な器種	保存修復
竹ノ内遺跡、筆無遺跡、銀座第2遺跡、上ノ原遺跡、八幡遺跡	銭貨	脱塩まで実施
野首第1遺跡	鋌など	脱塩まで実施
瀬戸前1号横穴墓	鉄斧・など	脱塩まで実施
神殿遺跡、国光原遺跡、木戸平第2遺跡、五ヶ村遺跡、前ノ田村上第1遺跡、中ノ迫第2遺跡、山崎上ノ原第2遺跡、富吉前田遺跡、働女木遺跡	刀子、鉄鏃、キセルなど	樹脂含浸まで実施

遺跡名	主な器種	保存修復
平峰遺跡（3次）	刀子など	クリーニングまで実施
余り田遺跡、樺山・郡元遺跡	木製品	含浸まで実施

## (5) 収蔵整理

### ① 収蔵庫（分館）

分館収蔵庫には、登録を完了した遺物や登録作業途中・待機中の遺物を収蔵している。平成24年度末における収蔵量はコンテナ9,007箱である。

### ② 収蔵庫（本館）

新収蔵庫には、主に本館で整理作業の終了した遺物や登録待機遺物を収蔵している。平成24年度は、コンテナ212箱を搬入した。これまでに搬入した分と合わせると、コンテナ12,425箱の収蔵量となった。

### ③ 登録作業

分館において実施している従来の登録法による平成24年度の実績は8遺跡、コンテナ158箱である。累計198遺跡、コンテナ5,252箱となった。本館における同年度の登録実績は10遺跡、コンテナ213箱であり、累計76遺跡、コンテナ1,819箱となった。よって、平成24年度の本館と分館を合わせた登録収蔵総累計は、274遺跡、コンテナ7,071箱である。

### ④ 図書資料

全国から送られてくる発掘調査等の報告書や購入書籍・雑誌類を図書室に集架している。平成24年度は2,210冊の受け入れがあり、合計収蔵数は68,289冊になる。バーコードを利用した図書管理システムを導入しており、パソコンを用いた図書類のデータベース登録を実施している。

## 2 教育普及活動

埋蔵文化財に親しむ事業として「ここまでわかったひむかの歴史～講演会と遺物公開～」を5月から年6回実施し、合わせてテーマ講座2回、テーマ展示1回を実施した。8月には平成24年度の発掘調査の速報会「発掘調査最前線2012～遺跡発掘速報会～」を県立図書館で開催した。毎年11月の文化財保護強調週間に合わせて分館で行っている施設公開については、本年は7月に本館でも実施している。

併せて、学校や生涯学習団体等の要請に応じて、地域に出向いて行う出前講座や出前展示も実施した。

なお、分館では、常時発掘調査の成果を公開しており、遺物などの展示のほか、遺物整理や報告書作成までの作業を行う復元整理室を見学することができる。平成24年度の来館者は6,897名であった。

### (1) ここまでわかったひむかの歴史～講演会と遺物公開～

年間6回（5、6、7、9、1、3月）、午後1時30分から3時まで分館研修室で講演会を実施した。また、講演会に先立ち関連する遺物を展示公開した。

#### 講演日及び講演名等

開催日	講演名	講師	参加者
第1回 H24.5.12	「日向市平岩、1万年の歴史」 － 旧石器から現代まで － 岡遺跡（日向市）	宮崎県埋蔵文化財センター 中川 みな子	43名
第2回 H24.6.23	「石を割る、火をおこす、水と向き合う」 － 俵石の旧石器から弥生時代 － 俵石第1・第2遺跡（都農町）	宮崎県埋蔵文化財センター 谷口 めぐみ	23名
第3回 H24.7.28	「日向灘を望む山あいの集落」 向原中尾第1・第2・第4遺跡（日向市）	宮崎県埋蔵文化財センター 山本 光俊	21名
第4回 H24.9.22	「異文化と鉄が薫る古墳集落」 平峰遺跡（都城市）	宮崎県埋蔵文化財センター 加藤 徹	32名

開催日	講演名	講師	参加者
第5回 H25. 1. 26	「彼らが残したもの」 － 垣間見る2万年前の舟川第2遺跡 － 舟川第2遺跡（都農町）	宮崎県埋蔵文化財センター 川俣 唱子	26名
第6回 H25. 3. 2	「小京都の武家屋敷、現る！」 飢肥城下町跡（日南市）	宮崎県埋蔵文化財センター 二宮 満夫	26名

## (2) テーマ講座・展示

テーマ講座として2回、テーマ展示として1回実施した。

開催日	講座名	講師	参加者
第1回 H24. 7. 22	「夏休み!石器模型を作ろう」	宮崎県埋蔵文化財センター 松田 清孝	40名
第2回 H24. 10. 20	「記紀の編まれた時代の土器」	宮崎県埋蔵文化財センター 吉本 正典	15名

開催期間	展示会名	場所	観覧者
H24. 12. 22 ～ H25. 2. 28	「センター所蔵の逸品展Ⅱ」 古墳時代から中近世にかけての資料170点を展示	宮崎県埋蔵文化財センター分館 展示室	823名

## (3) 発掘調査最前線2012 ～遺跡発掘速報会～

平成23年度に発掘調査を実施した遺跡から、地域、時代などを考慮して6遺跡を選び、県立図書館2階研修ホールにおいて遺跡発掘速報会を行った。また、図書館特別展示室にて資料展示会を開催した。

開催日	時間	場所	参加者
H24. 8. 19	13:00～16:00	県立図書館研修ホール	105名

## ○報告した遺跡とテーマ

	遺跡名	演題	担当者
1	舟川第2遺跡（都農町）	垣間見る2万年前の風景	川俣 唱子
2	中畑遺跡・坂ノ下遺跡（延岡市）	いにしへの斜面地の生活	吉永 登志孝
3	広原第1遺跡（高原町）	霧島火山の麓で生きてきた先人たち	泊 俊一郎
4	長野遺跡（都農町）	眺めのよい高台に残る弥生の集落跡	明石 宏一
5	岡遺跡（日向市）	オーシャン・ビュー・・・日向人おかに立つ!	松浦 朋彦
6	陣ノ口遺跡（都城市）	‘しわち’で見つかった昔々の道のあと	宗廣 睦子



#### (4) 埋文センター施設公開

本年度の施設公開は、本館と分館で2回実施した。本館では、特に夏休みの自由研究に役立つ講座やコーナーを設置した。分館においては、例年のように11月の文化財保護強調週間に合わせて実施し宮崎県のマスコットキャラクターである「みやざき犬」を招聘してイベントを開催した。

開催日	開催場所	内容	参加者
H24. 7. 22	本館	○展示見学、大昔の食、縄文土器、石器製作実演コーナー等を設け夏休みの自由研究の材料を提供した。	133名
H24. 11. 4	分館	○各整理作業体験コーナーの他に、発掘疑似体験、レプリカ作成体験、遺物と記念撮影、‘みやざき犬’によるPRショーを実施	240名



拓本の体験



石器製作の見学



みやざき犬の天岩戸開きショー

#### (5) 出前講座

要請のあった各地域に向いて、埋蔵文化財センター職員が生涯学習団体や小・中学校を対象とした出前講座を実施している。同時に、出前展示やセンター業務紹介も行っている。

回	開催日	時間	依頼者	内容	参加者
1	H24. 4. 25	9:30~10:15	川南町立通山小学校	・‘ふるさと川南の縄文時代から古墳時代’について解説	46名
2	H24. 5. 2	8:40~12:00	宮崎市立江平小学校	・周辺の遺跡と縄文・弥生・古墳時代の土器の違い	128名
3	H24. 6. 26	14:00~16:00	西米良村教育委員会	・石造物の拓本採取作業演習	5名
4	H24. 7. 11	10:35~12:15	宮崎市立広瀬西小学校	・学校周辺および佐土原町内の遺跡について	44名
5	H24. 7. 12	10:40~12:30	小林市立紙屋中学校	・野尻地区・野尻町内の遺跡について	12名
6	H24. 7. 17	14:05~15:55	延岡市立浦城小学校	・身近な地域の遺跡について	11名
7	H24. 8. 30	10:00~11:50	日章学園中学校	・学校周辺の遺跡と出土遺物から地域の歴史を学ぶ	40名
8	H24. 10. 23	9:30~11:20	日向市立寺迫小学校	・寺迫地区の遺跡と文化財	84名
9	H24. 12. 12	15:30~17:30	川南町放課後子ども教室 (川南町公民館川南別館)	・町内遺跡の概要、石器レプリカ作成体験、施文体験など	11名

10	H25. 12. 19	15:30~17:30	川南町放課後子ども教室 (川南町公民館多賀別館)	・町内遺跡の概要、石器レプリカ作成体験、施文体験など	18名
11	H25. 1. 9	15:30~17:30	川南町放課後子ども教室 (川南町公民館東別館)	・町内遺跡の概要、石器レプリカ作成体験、施文体験など	8名
12	H25. 1. 16	15:30~17:30	川南町放課後子ども教室 (川南町公民館山本別館)	・町内遺跡の概要、石器レプリカ作成体験、施文体験など	9名
13	H25. 1. 23	15:30~17:30	川南町放課後子ども教室 (川南町公民館通山別館)	・町内遺跡の概要、石器レプリカ作成体験、施文体験など	8名
14	H25. 3. 8	14:00~14:45	日之影町立日之影小学校	・日之影町の遺跡概要、遺物の見学と解説	17名

### (6) 出前展示

発掘調査で県内各地から出土した遺物などを各地域で展示し、発掘の成果を公開している。また、合わせて埋蔵文化財センターの業務内容についての紹介を行っている。本年度は東九州自動車道路の一部開通に伴う開通イベントとして関連遺跡の遺物を会場で展示紹介した。

	開催期間	時間	場所	内容	参加者
1	H24. 8. 11 } H24. 8. 26	9:00~17:00	県立図書館特別展示室	・「遺跡発掘速報展」として平峰、岡、塩見城跡、坂ノ下など6遺跡の遺物約380点を展示	741名
2	H24. 12. 9	9:00~14:00	都農ICイベント会場	・東九州自動車道「都農～高鍋間」開通記念イベントの一環として、関連遺跡出土の土器や石器、解説パネルを展示	350名
3	H24. 12. 9	9:00~15:30	北川ICイベント会場	・東九州自動車道「須美江IC～延岡JCT間」開通記念イベントの一環として、関連遺跡出土の土器や石器、解説パネルを展示	750名
4	H25. 2. 17	9:00~14:00	北浦漁港	・東九州自動車道「蒲江～北浦間」開通記念イベントの一環として、関連遺跡出土の土器や石器、解説パネルを展示	450名
5	H25. 3. 2 } H25. 3. 11	9:00~22:00	県武道館	・県武道館の最寄りの遺跡である宮崎学園都市遺跡群、東九州自動車道路関係遺跡の遺物および解説パネルを展示	581名

### (7) 発掘体験

郷土の歴史への興味・関心を高め、埋蔵文化財を大切にすることを育てること、さらに埋蔵文化財センターの業務内容についての理解を深める一助とすることを目的として実施している。

本年度は、「発掘体験」を実施する上で適切な遺跡がなかったために実施していない。

### (8) 現地説明会及び発掘調査成果報告会

本年度は、遺跡の現地説明会を都城市大年遺跡で実施し、発掘調査成果報告会を高原町と日向市の2会場で実施した。

#### 現地説明会

	事業名	所在地	期日	参加者	事業内容
1	大年遺跡発掘調査現地説明会	都城市梅北町	H25. 2. 3	181名	県道飯野松山都城線(都城志布志道路)整備工事

#### 発掘調査成果報告会

	事業名	開催地	期日	参加者	事業内容
1	広原第1遺跡発掘調査成果報告会	高原町中央公民館	H25. 2. 17	36名	西諸県地区総合制専門高校設置事業
2	岡遺跡発掘調査成果報告会	日向市曙公民館	H25. 3. 10	52名	東九州自動車道(日向～都農間)

### (9) 見学・研修等で訪れた団体および職場体験の受け入れ

	内容	場所	団体名	期日	人数
1	展示見学	埋蔵文化財センター分館	都城市立高崎小学校	H24. 5. 9	42名
2	展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立宮崎南小学校	H24. 5. 11	124名
3	展示見学	埋蔵文化財センター分館	新富町立上新田小学校	H24. 5. 11	39名
4	展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立東大宮小学校	H24. 5. 11	152名
5	展示見学	埋蔵文化財センター分館	川南町立茶臼原小学校	H24. 5. 11	35名
6	展示見学	埋蔵文化財センター分館	日向市亀崎中区いきいきサロン 亀の会	H24. 5. 17	26名
7	展示見学	埋蔵文化財センター分館	川南町立通山小学校	H24. 5. 17	29名
8	展示見学	埋蔵文化財センター分館	川南町立川南小学校	H24. 5. 18	93名
9	展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立住吉小学校	H24. 5. 18	143名
10	展示見学	埋蔵文化財センター分館	三股町立三股西小学校	H24. 5. 18	114名
11	展示見学	埋蔵文化財センター分館	都城市立菓子野小学校	H24. 5. 18	16名
12	展示見学	埋蔵文化財センター分館	串間市老人クラブ	H24. 5. 25	17名
13	展示見学	埋蔵文化財センター分館	日向市立美々津小学校	H24. 5. 25	15名
14	展示見学	埋蔵文化財センター分館	美郷町西郷区高齢者クラブ	H24. 6. 2	18名
15	展示見学	埋蔵文化財センター分館	小林市立紙屋中学校家庭教育学級	H24. 7. 19	17名
16	展示見学	埋蔵文化財センター分館	都城市立山之口小学校	H24. 10. 19	46名
17	展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立赤江小学校	H24. 10. 19	125名
18	展示見学	埋蔵文化財センター分館	都城市立梅北小学校	H24. 10. 26	25名

	内容	場所	団体名	期日	人数
19	展示見学	埋蔵文化財センター分館	都城市立乙房小学校	H24. 10. 26	34名
20	展示見学	埋蔵文化財センター分館	日向市立富高小学校	H24. 10. 26	89名
21	展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立生目小学校	H24. 11. 2	49名
22	展示見学	埋蔵文化財センター分館	日南市立吾田小学校	H24. 11. 2	62名
23	展示見学	埋蔵文化財センター分館	小林市立細野小学校	H24. 11. 2	88名
24	展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立清武小学校	H24. 11. 2	113名
25	展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立住吉南小学校	H24. 11. 7	95名
26	展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立小戸小学校	H24. 11. 8	98名
27	展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立小松台小学校	H24. 11. 9	85名
28	展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立田野小学校	H24. 11. 9	78名
29	展示見学	埋蔵文化財センター分館	門川町立門川小学校	H24. 11. 9	86名
30	展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立大塚小学校	H24. 11. 15	143名
31	展示見学	埋蔵文化財センター分館	西都市立三財小学校	H24. 11. 16	24名
32	展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立江平小学校	H24. 11. 22	130名
33	展示見学	埋蔵文化財センター分館	串間市立本城小学校	H24. 11. 22	19名
34	展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立江南小学校	H24. 11. 22	103名
35	展示見学	埋蔵文化財センター分館	日南市高齢者クラブ	H24. 11. 27	19名
36	展示見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立東大宮小学校	H25. 1. 9	150名
37	教職経験10年経過研修(社会体験研修)	埋蔵文化財センター本館・分館	宮崎県立宮崎工業高校	H24. 7. 19～ 7. 22	1名
38	公立小中学校・県立学校初任者研修	埋蔵文化財センター本館	県教育研修センター	H24. 8. 2	10名
39	事務局職員派遣研修	埋蔵文化財センター本館・分館	社団法人宮崎県教職員互助会	H24. 10. 29～ 11. 4	1名
40	教職経験10年経過研修	大年遺跡	県教育研修センター	H24. 11. 15	14名
41	発掘調査現場見学	駄小屋遺跡	延岡市立北方小学校	H24. 11. 27	33名
42	職場体験学習	埋蔵文化財センター本館	宮崎市立広瀬中学校	H24. 11. 28～ 11. 30	4名



## (10) 資料等の提供

埋蔵文化財センターでは、一般や公共機関、研究機関、研究者の利用希望に応じて、可能な限り資料を提供している。資料提供には資料調査等に係る館内利用（資料の閲覧・実測等）や館外貸出及び掲載許可申請があり、平成24年度は館内利用が21件、館外貸出が16件、掲載許可が10件であった。

### 館内利用

	利用資料名	利用目的	利用日
1	野添遺跡〔種実炭化物〕	資料調査	H24. 4. 11
2	前ノ田村上第2遺跡、勘大寺遺跡（二次）、北牛牧第5遺跡、中ノ迫第1遺跡〔旧石器〕	資料調査	H24. 4. 28～29
3	西ノ別府遺跡〔青銅鏡〕	資料調査	H24. 6. 19
4	東畦原第一遺跡（一次）、（四次）〔旧石器〕	資料調査	H24. 6. 29
5	立野第5遺跡〔旧石器〕	資料調査	H24. 7. 14～16
6	立野第5遺跡〔旧石器〕	資料調査	H24. 7. 21～22
7	俵石第1遺跡、向原中尾第4遺跡、舟川第2遺跡〔旧石器〕	資料調査	H24. 8. 3
8	野首第2遺跡〔旧石器〕	資料調査	H24. 8. 28
9	舟川第2遺跡、尾花A遺跡、高野原第5地点、林遺跡、山田遺跡〔旧石器〕	資料調査	H24. 9. 22～23
10	竹ノ内遺跡〔縄文土器〕	資料調査	H24. 10. 23
11	大島島田遺跡〔土師器・陶磁器〕①	資料調査	H24. 10. 27
12	大島島田遺跡〔土師器・陶磁器〕②	資料調査	H24. 10. 31
13	尾立第2遺跡、中ノ迫第3遺跡、俵石第2遺跡、山田遺跡〔局部磨製石斧〕	資料調査	H24. 11. 24
14	前ノ田村上第2遺跡、勘大寺遺跡、野首第2遺跡〔旧石器〕	資料調査	H24. 11. 26～30
15	下耳切第3遺跡、山崎上ノ原第2遺跡、野首第2遺跡、榎木地下式、尾花A遺跡、平峰三次遺跡、柿迫遺跡、迫内遺跡、塚原C遺跡、熊野原B遺跡、平原遺跡、鳩藪遺跡、宮ノ前第2遺跡〔玉類〕	資料調査	H24. 11. 30
16	寺崎遺跡、宮ノ東遺跡、野首第1遺跡〔土師器〕	資料調査	H25. 1. 28
17	堂地東遺跡〔弥生土器〕	資料調査	H25. 1. 29～30
18	塚原遺跡、白ヶ野第2・3遺跡、音名寺第2遺跡、東畦原第3遺跡、中ノ迫第3遺跡、立野第5遺跡、南中原第1遺跡、山田遺跡、野首第2遺跡、尾立第2遺跡、俵石第2遺跡〔旧石器〕	資料調査	H25. 2. 2
19	野添遺跡、板平遺跡〔縄文土器〕	資料調査	H25. 3. 8
20	下屋敷遺跡、東畦原第3遺跡、音明寺第1遺跡、唐木戸第3遺跡、東畦原第1遺跡、小並第1遺跡、野首第2遺跡、尾立第2遺跡、中ノ迫第2遺跡、黒仁田遺跡、尾花A遺跡〔細石刃・細石刃核〕	資料調査	H25. 3. 11～14
21	布平遺跡〔縄文土器〕	資料調査	H25. 3. 18

### 館外貸出

	貸出資料名	数量	目的	期間	貸出機関名
1	下屋敷遺跡・長藪原遺跡〔石器〕	10点	文化交流展示「海の道、アジアの路」開催のため	H24. 4. 1 ～ H25. 3. 31	九州国立博物館
2	学習キット〔縄文・弥生時代〕	一式	6年生の社会科授業で使用	H24. 4. 21 ～ H24. 4. 22	西都市立都於郡小学校

	貸出資料名	数量	目的	期間	貸出機関名
3	倉岡第2遺跡、前原北遺跡〔土器〕	一式	6年生の社会科授業で使用	H24. 4. 21 ) H24. 4. 23	日南市立大窪小学校
4	学習キット〔縄文・弥生・古墳〕	一式	6年生の社会科授業で使用	H24. 5. 17 ) H24. 5. 26	宮崎市立赤江小学校
5	鳥ノ子遺跡、迫内遺跡〔土師器・須恵器・陶磁器・鉄器・玉類〕	49点	「生目中学校区の遺跡」展開催のため	H24. 6. 7 ) H24. 11. 6	宮崎市教育委員会
6	櫛間城跡、飢肥城下町遺跡〔陶磁器・土師器ほか〕	137点	企画展1「城跡が語る日向-宮崎県南部の城-」開催のため	H24. 6. 20 ) H24. 9. 28	宮崎県立西都原考古博物館
7	野添遺跡〔炭化種子〕	30点	文化交流展示「海の道、アジアの路」開催のため	H24. 6. 27 ) H25. 3. 31	九州国立博物館
8	前ノ田村遺跡〔土器・石器〕	21点	1学年の社会科授業で使用	H24. 7. 7 ) H24. 7. 18	宮崎市立生目台中学校
9	堂地東遺跡、県内出土資料〔土器・石器〕	10点	職員研修の授業で使用	H24. 7. 31 ) H24. 7. 31	宮崎市立大宮小学校
10	東畦原第1遺跡〔写真（フィルム等）〕	2点	国際交流展「人の来た道」に使用	H24. 8. 24 ) H24. 12. 21	宮崎県立西都原考古博物館
11	大島島田遺跡〔土器・陶磁器〕	41点	高城生涯学習センターおよび都城歴史資料館における展示会に使用	H24. 9. 10 ) H25. 1. 18	都城市教育委員会
12	野首第1遺跡、山崎上ノ原第2遺跡〔土人形〕	2点	特別展「宮崎の土人形～佐土原人形の世界～」に使用	H24. 9. 18 ) H24. 12. 21	宮崎県総合博物館
13	東畦原第1遺跡〔旧石器〕	21点	特別展「氷河時代のヒト・環境・文化 THE ICEAGE WORLD」に使用	H24. 10. 1 ) H24. 12. 28	明治大学博物館
14	余り田遺跡〔土器・木器・写真〕	42点	企画展「生目南中・生目台中学校区の遺跡」に使用	H24. 11. 7 ) H25. 3. 31	宮崎市教育委員会
15	塚原遺跡、山之城跡、尾花A遺跡〔須恵器〕	3点	企画展「須恵器とは何か」に使用	H25. 1. 11 ) H25. 3. 30	宮崎県立西都原考古博物館
16	浦田遺跡、竹ノ内遺跡、上の原第1遺跡〔石器、装飾品、石製品、土製品〕	27点	清武町史に掲載（写真撮影）	H25. 3. 5 ) H25. 3. 19	清武町合併特例区

刊行物等掲載（写真等資料提供）

資料名	掲載刊行物等	依頼者	申請日
向原中尾第4遺跡[説明資料]（報告書抜粋PDF）、[写真]（有舌尖頭器）	埋蔵文化財出土情報2012年6月号	ジャパン通信情報センター	H24. 3.29
大島畠田遺跡 [写真]（大型建物）	歴史講演会「大島畠田遺跡の時代を語る」のポスターに使用	都城市教育委員会	H24. 8.16
山崎上ノ原第2遺跡、[写真]（調査区全景）、山崎下ノ原第1遺跡[写真]（SC16馬具出土状況）	秋季特別展に使用する図録、展示パネル等に使用	大阪府立近つ飛鳥博物館	H24. 8.17
東畦原第1遺跡 [写真]（基本層序） 立野第5遺跡[写真]（名貫川以北の地形）	国際交流展「人の来た道」展示図録	宮崎県立西都原考古博物館	H24. 8.21
東畦原第1遺跡（第1次調査、第4次調査） [写真]（第I文化層出土旧石器）	特別展図録「氷河時代のヒト・環境・文化」	明治大学博物館	H24. 8.22
大島畠田遺跡[写真]（調査区全景、柱穴の状況、SC24遺物検出状況、墨書土器、緑釉陶器、越州窯系青磁、石製鈎具）	「国指定史跡 大島畠田遺跡」パンフレット	都城市教育委員会	H24.10.12
田上遺跡[写真]（圧痕土器とそのモデリング陽像）、右葛ヶ迫遺跡[写真]（編布圧痕のモデリング陽像）、王子原遺跡[写真]（編布圧痕のモデリング陽像）	尾関清子著「縄文の布ー日本列島布文化の起源と特質ー」	雄山閣	H24.11. 5
宮ノ東遺跡[写真]（遠景空中写真）	西都市社会科副読本	西都市教育委員会	H25. 2.14
上の原第3遺跡[写真]（SA1出土遺物）、上の原第1遺跡[写真]（縄文時代遺構群）、上の原第1遺跡[写真]（埋納遺構遺物）、竹ノ内遺跡[写真]（空中写真）	清武町史	清武町合併特例区	H25. 2.27
家田古墳群・家田城跡[写真]（調査区全景南東方向より、上空より、家田古墳群出土鉄剣（処理前）、家田古墳群出土鉄鏃・刀子（処理後）、江田古墳群出土鉄鏃（処理後））黒仁田遺跡[写真]（遠景、全景、旧石器時代接合資料、叩き目の見られる土師器）、海舞寺遺跡[写真]（海舞寺遺跡を上空より望む、北側の尾根から海舞寺遺跡を望む、遺構検出状況、古銭出土状況、ピット四耳壺出土状況、1号石組遺構半截状況、2号石組遺構半截状況、1,2号横穴検出状況、石器・鉄器、輸入青磁・白磁、瓦質土器、東播系・備前、土師器皿、出土銭貨）、[掲載図]（調査位置図）	延岡市史	延岡市	H25. 3.11

### (11) 職員派遣

市町村の教育委員会に埋蔵文化財の専門的・技術的な指導を行い、諸機関・団体主催講演会等の普及啓発行事にも職員を派遣している。

内容	派遣期日	依頼者	派遣職員
日向国府跡整備に伴う確認調査の調査指導(指導委員会出席)	H25. 1. 9	西都市教育委員会	吉本正典

### (12) 埋蔵文化財担当専門職員研修会

埋蔵文化財センターでは、発掘調査技術等の向上をめざし、県及び市町村埋蔵文化財担当専門職員を対象とした研修を実施している。

内容	場所	期日	参加者数
「遺物の保存処理について」	埋蔵文化財センター分館	H24. 9. 14	36名

### (13) 広報出版物

埋蔵文化財センターの「年間行事案内」及び「埋文通信」の発行を行うとともに「ここまでわかったひむかの歴史」、「ひむかの歴史2012」、施設公開等についてもポスターやチラシ、資料等の作成を行った。

また印刷物ではないが、当センター紀要第1集を刊行し、ホームページ上で公開した。

	広報出版物	発行年月
1	平成25年度宮崎県埋蔵文化財センター 年間行事案内「EVENT CALENDAR」	H25. 3
2	宮崎県埋蔵文化財センター通信 「ひむか」15号	H25. 3

### (14) ホームページ

ホームページをリニューアルし、新ページでの運用を4月末から開始した。シンプルなページ構成で直感的な操作を容易にしたほか、宮崎大学の宮崎県遺跡資料リポジトリとの連携を強め、直リンクにより報告書のダウンロードを可能とした。また、CMS(Content Management System)の導入により、新着情報などの更新作業を容易にしたほか、問合せフォームを設け、利便性を向上させた。

## 3 会議・職員研修

### (1) 各種会議等への参加

独立行政法人奈良文化財研究所で実施している発掘技術者研修や全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会主催の各種会議等に職員を派遣し、職員の資質向上と業務の円滑な推進を図っている。

内容	日程	開催地	出席者
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会	H24. 7. 5～7. 6	三重県伊勢市	北郷 泰道
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 中国・四国・九州ブロック会議	H24. 10. 4～10. 5	岡山県岡山市	橋本 英俊

内 容	日 程	開催地	出席者
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 第25回研修会	H24. 11. 8～11. 9	岩手県北上市	永友 良典
埋蔵文化財担当者専門研修「土器・陶磁器調査課程」	H24. 11. 12～11. 16	奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター	沖野 誠
第1回埋蔵文化財担当職員等講習会	H24. 9. 5～9. 7	広島県福山市	日高 広人

## (2) 共同研究への参加

他研究者等が主催する共同研究に職員が参加する。

内 容	日 程	参加者
九州国立博物館協同研究「九州の近世陶磁」	H25. 1. 31～2. 1	柳田 晴子
『古事記』と日向神話研究会	H24. 11. 17～11. 18	谷口めぐみ

## (3) 労働安全衛生関係の講習会等への参加

発掘調査現場及びセンター内での安全衛生の増進を図るため、各講習会へ参加している。

内 容	日 程	参加者
安全衛生推進者養成講習	H24. 4. 24～4. 25	吉永 登志孝 野崎 一人 木場 正浩 二方 和也 中川 みな子 大嶋 昭海 山本 光俊 谷口 めぐみ
地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習	H24. 5. 29～5. 31	飯田 博之
救急救命講座（心肺蘇生法・AED操作法・応急手当）	H24. 6. 22 H24. 6. 28	総務課・調査第一課・調査第二課・ 普及資料課 各職員
第二種衛生管理者受験準備講習	H24. 7. 24～7. 25	日高 広人
第二種衛生管理者免許試験	H24. 8. 18	日高 広人
有機溶剤作業主任者技能講習	H25. 3. 6～3. 7	沖野 誠

## IV 宮崎県埋蔵文化財センター管理規則

平成 8 年 3 月 29 日  
教育委員会規則第 5 号

改正

平成 12 年 1 月 20 日教育委員会規則第 1 号  
平成 12 年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号  
平成 12 年 12 月 18 日教育委員会規則第 21 号  
平成 18 年 3 月 30 日教育委員会規則第 9 号  
平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 3 号  
平成 20 年 3 月 31 日教育委員会規則第 6 号  
宮崎県埋蔵文化財センター管理規則をここに公布する。  
宮崎県埋蔵文化財センター管理規則

(趣旨)

第 1 条 この規則は、別に定めるもののほか、宮崎県埋蔵文化財センター及び宮崎県埋蔵文化財センター分館（以下「埋蔵文化財センター」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(事業)

第 2 条 埋蔵文化財センターは、次に掲げる事業を行う。

- (1) 埋蔵文化財の調査研究に関する事。
- (2) 出土品その他の資料の保存及び活用に関する事。
- (3) 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関する事。
- (4) 埋蔵文化財関係者の専門的、技術的な研修及び指導に関する事。
- (5) 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発に関する事。
- (6) その他埋蔵文化財保護に必要な事業に関する事。

(組織)

第 3 条 埋蔵文化財センターに、次の課を置く。

総務課  
調査第一課  
調査第二課  
普及資料課

(分掌事務)

第 4 条 前条に規定する各課の分掌事務は、次のとおりとする。

総務課

- (1) 職員の人事、給与及び服務に関する事。
- (2) 予算の執行及び決算に関する事。
- (3) 文書の收受、発送及び保存に関する事。
- (4) 公印の管守に関する事。
- (5) 施設及び設備の管理に関する事。
- (6) その他他の課の所管に属さない事項に関する事。

調査第一課

- (1) 東九州自動車道建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関する事。
- (2) 前号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関する事。
- (3) 第 1 号の発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関する事。

調査第二課

- (1) 国、県関係事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関する事。
- (2) 前号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関する事。
- (3) 第 1 号の発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関する事。

普及資料課

- (1) 出土品の保存処理、修復、保存管理及び活用に関する事。
- (2) 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関する事。
- (3) 出土品その他の資料及び埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料（以下「資料等」という。）の貸出しに関する事。
- (4) 埋蔵文化財関係者に対する専門的、技術的な研修及び指導に関する事。

(職及び職務)

第5条 埋蔵文化財センターに、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職務
所 長	所務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副 所 長 (2人)	所長を補佐し、所長に事故があるとき、又は所長が欠けたときは、その職務を代行する。
課 長	上司の命を受けて、課に属する事務を処理する。
専門主事	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする事務に従事する。
主任主事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主 事	上司の命を受けて、事務に従事する。

2 前項に規定する副所長の職務の担当区分は、1人を統括とし、他を業務担当とする。

3 第1項の規定により副所長が所長の職務を代行する順序は、次のとおりとする。

第1順位 統括の副所長

第2順位 業務担当の副所長

4 第1項に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに、必要に応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職務
副 参 事	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
主 幹	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
専門主幹	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
副 主 幹	上司の命を受けて、その相当高度の専門的業務に従事し、又は埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
主 査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。

(その他の職)

第6条 前条に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに必要なに応じ、技術員を置く。

2 技術員は、上司の命を受けて、技能又は労務に従事する。

(開館時間等)

第7条 埋蔵文化財センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。

2 埋蔵文化財センターの入館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。

(休館日)

第8条 埋蔵文化財センターの休館日は、次のとおりとする。

区 分	休 館 日
宮崎県埋蔵文化財センター	1 土曜日及び日曜日 2 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。） 3 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで（休日を除く。） 4 特別整理期間（あらかじめ所長が定めて公示する期間をいう。以下同じ。）
宮崎県埋蔵文化財センター 分館	1 月曜日（休日に当たるときを除く。） 2 休日の翌日（土曜日、日曜日又は休日に当たるときを除く。） 3 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで 4 特別整理期間

2 所長は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に同項に定める休館日に開館し、又は同項に定める休館日以外の日に休館することができる。

(入館の制限等)

第9条 所長は、埋蔵文化財センターを利用しようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。

(1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

(2) 施設、設備、備品等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。

(3) 所長が指定する場所以外において喫煙又は飲食をしたとき。

(4) 条例若しくは規則又は所長の指示に従わないとき。

(5) 前各号に掲げる場合のほか、埋蔵文化財センターの管理運営上支障があると認められるとき。

(資料等の館内利用)

第10条 館内において資料等を利用しようとする者は、資料等館内利用承認申請書（別記様式第1号）を所長に提出して、所長の承認を受けなければならない。

(資料等の館外貸出し)

第 11 条 次に掲げるものは、資料等の館外貸出しを受けることができる。

- (1) 国立の博物館、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 2 条第 1 項に規定する博物館及び同法第 29 条の規定により文部科学大臣又は宮崎県教育委員会が博物館に相当する施設として指定したもの
  - (2) 社会教育法（昭和 24 年法律第 207 号）第 21 条に規定する公民館
  - (3) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 1 条に規定する学校
  - (4) 国又は地方公共団体の設置する教育又は文化に関する調査研究機関
  - (5) 市町村立の歴史民俗資料館等で宮崎県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）が定めるもの
  - (6) その他教育長が適当と認めるもの
- 2 資料等の館外貸出しの期間は、30 日以内とする。ただし、所長が特に必要があると認めるときは、これを延長し、又は貸出しの期間中であっても、当該資料等の返還を求めることができる。
- 3 資料等の館外貸出しを受けようとする者は、資料等館外貸出承認申請書（別記様式第 2 号）を所長に提出し、所長の承認を受けなければならない。
- 4 所長は、出土品その他の資料について前項の承認をしようとするときは、次の事項を確認しなければならない。
- (1) 貸出しを受ける目的が当該出土品その他の資料の保存及び活用にとって適切であること。
  - (2) 当該出土品その他の資料の保管、展示等を適切に行うための施設及び設備が整備されていること。
  - (3) 貸出しの期間中当該出土品その他の資料が適切な知識、技能を持つ者に取り扱われること。

(弁償)

第 12 条 入館者、館内利用者又は資料等の館外貸出しを受けた者は、資料等、設備又は備品を亡失し、破損し、又は汚損したときは、所長の指示に従い、その修理又は損害の賠償をしなければならない。

(委任)

第 13 条 この規則に定めるもののほか、埋蔵文化財センターの管理運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。  
(宮崎県総合博物館管理運営規則の一部改正)
- 2 宮崎県総合博物館管理運営規則（昭和 46 年宮崎県教育委員会規則第 4 号）の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則（平成 12 年 1 月 20 日教育委員会規則第 1 号）

この規則は、平成 12 年 1 月 20 日から施行する。

附 則（平成 12 年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号）

この規則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 12 年 12 月 18 日教育委員会規則第 21 号抄）

(施行期日)

1 この規則は、平成 13 年 1 月 6 日から施行する。

附 則（平成 18 年 3 月 30 日教育委員会規則第 9 号）

この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 3 号）

この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 20 年 3 月 31 日教育委員会規則第 6 号）

この規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

別記

様式第 1 号

(第 10 条関係)

様式第 2 号

(第 11 条関係)



## 資料等館内利用承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所  
申請者 氏 名  
電話番号

〔法人にあつては主たる事務所の所在地、  
名称及び電話番号並びに代表者の氏名〕

資料等の館内利用をしたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第10条の規定により、次のとおり申請します。

館内利用の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考

資料等館外貸出承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所  
申請者 氏 名  
電話番号

〔法人にあつては主たる事務所の所在地、  
名称及び電話番号並びに代表者の氏名〕

資料等の館外貸出を受けたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第11条第3項の規定により、次のとおり申請します。

館外貸出の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考
館外貸出期間	年 月 日から 年 月 日まで		

# 案内図

## 宮崎県埋蔵文化財センター

所在地 〒880-0212

宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 4019

TEL 0985-36-1171 (代表)

0985-36-1172 (調査研究室)

FAX 0985-72-0660

ホームページ <http://www.miyazaki-archive.jp/maibun/index.html>

E-mail [maizobunkazai-c@pref.miyazaki.lg.jp](mailto:maizobunkazai-c@pref.miyazaki.lg.jp)

### アクセス

公共機関：JR 佐土原駅から車で 10 分

宮崎市街地から高鍋町方面宮崎交通バス

御殿下バス停 から徒歩で 8 分



## 宮崎県埋蔵文化財センター分館

所在地 〒880-0053

宮崎県宮崎市神宮 2 丁目 4-4

TEL 0985-21-1600 (普及資料課)

FAX 0985-26-2634

観覧時間 午前 9 時～午後 5 時

(入館は午後 4 時 30 分まで)

休館日 年末年始 (12 月 28 日～1 月 4 日)

入館料 無料

E-mail [maibun-fukyu@pref.miyazaki.lg.jp](mailto:maibun-fukyu@pref.miyazaki.lg.jp)

### アクセス

公共機関：JR 宮崎神宮駅から徒歩で 10 分

綾・国富・平和が丘行き宮崎交通バス

博物館前バス停から徒歩で 2 分





交差する歴史と神話  
みやざき発掘100年

## 宮崎県埋蔵文化財センター

---

〒880-0212 宮崎市佐土原町下那珂 4019 番地  
T E L 0985-36-1171・1172 F A X 0985-72-0660  
E - mail maizobunkazai-c@pref.miyazaki.lg.jp